

平成29年度 働き方・休み方改善のためのワークショップ を開催しました（平成29年11月17日）

主 催：兵庫労働局・尼崎労働基準監督署
※当該ワークショップは尼崎労働基準監督署で実施された「労働時間管理説明会」の際に引き続き実施しました
日 時：平成29年11月17日（金）
場 所：尼崎労働基準監督署（3階 会議室）
対象事業者：全業種
参加者数：5名

上記内容で、ワークショップを開催しました。
テーマは事前アンケートにより

- ① 労働時間について
- ② 採用・人材確保について
- ③ 無期転換ルールについて
- ④ その他

に絞って、参加者の方々から忌憚のないご意見や取組事例を発表いただきました。

※アクションプランは後ろに添付しております

ワークショップ実施の様子

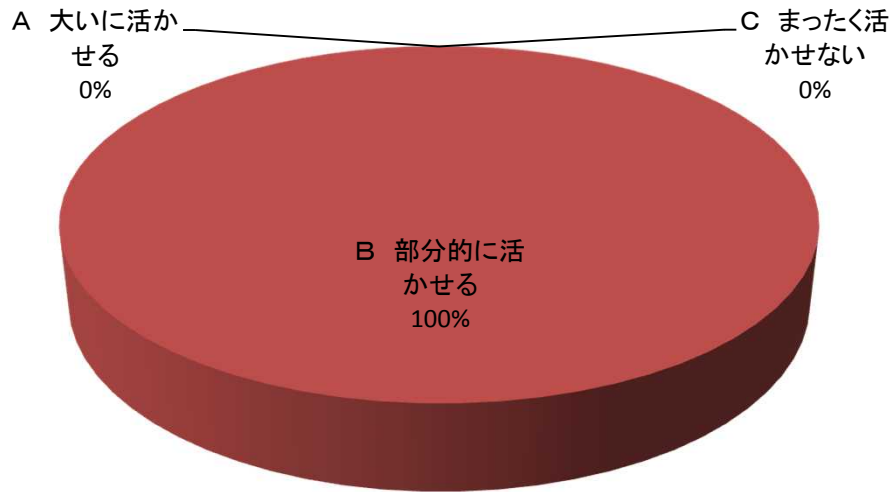


参加者の方々の感想

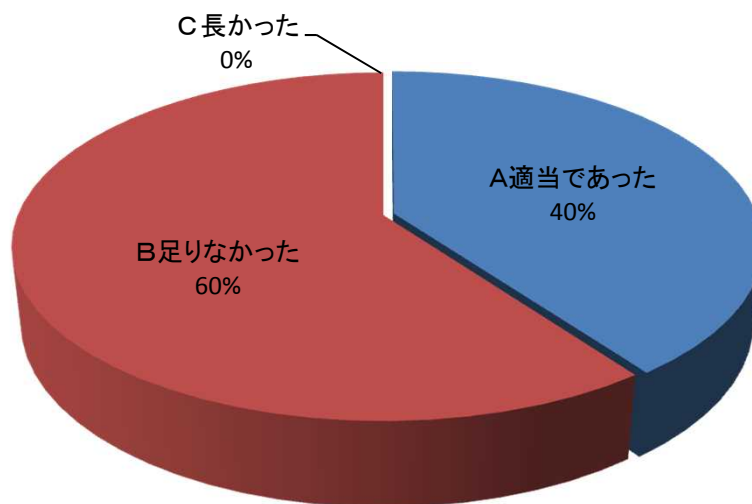
- ・ 各社様の課題や取組内容がわかり、参考となりました
- ・ 労働時間の把握・管理方法に工夫が必要と感じました
- ・ （尼崎署の説明と併せて）労働時間の考え方の整理ができました。
- ・ 無期転換への準備が必要と感じました
- ・ もう少し時間があつた方が良かった

アンケート結果

問1 今後の課題解決への取組に活かしていきますか？



問2 ワークショップの時間配分について（班別討議約60分）



アクションプラン記入シート(参考)

事業場名[in 尼崎労働基準監督署]

ミッション(宣言)	勤めて良かったと言えるように、社員の満足感を高めよう
ビジョン(将来像)	「働き方改革」という政策を利用して会社をより良くしていこう

現状分析	<p>【労働時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部署によって、もしくは人によって労働時間のばらつきがある。 ・休憩、労働時間の区分けの仕方について疑問がある。 ・季節的に繁忙の差がある。 ・残業前の休憩が取れていなかった。 ・旅行会社という業界だからという理由で労働時間が長くなる。 ・「多能工化」については、個々の能力差があり、ノウハウを教えると技術等が流出する恐れもある。 ・中間層の人員が少ない。 <p>【無期転換ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親会社と子会社の説明内容が統一されていない(情報の共有化が図れていない)。 ・直近でどこの部署の何名が無期転換権を手に入れるか把握はしている。 ・無期転換後は原則正社員とすることとしている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・労働時間短縮はこれからの課題である。 ・長時間労働が問題なのはわかるが、どのように進めていったらよいのか、具体的に思いつかない。 ・契約社員について、同一労働同一賃金の考え方をどう反映していくか課題である。 ・いわゆるホワイトカラーとして勤務している従業員について、より生産性を向上していくことについて課題である。



ゴール (年度目標・到達点)	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣会社や外部の請負事業者に業務を委託するなどして、労働時間を減らしていく。 ・事前に忙しくなるかどうか情報を把握するよう工夫する。 ・勤務時間について、負担集中に合わせたシフトを組む工夫をしていく。
-------------------	---

課題解決・ゴール達成に向けた取組計画

スケジュール	課題解決に向けた取組
長期的な取組(3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・やらなくても良い仕事はやらない、業務の棚卸を行う。
中期的な取組(1~3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間、負荷集中に合わせたシフトを組んでいく。 ・取引先とのコミュニケーションを密にしていく。 ・負荷の平準化を図り、1人の従業員がいくつかの業務をこなせるよう社員教育を浸透させ、多能工化を図る。
当面(3か月程度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・社員教育を見直す(多能工化を図っていくため、中長期的な視点で計画を作成する) ・各管理者に問題点を調査し、問題点の洗い出しを行っていく。 ・労働時間を適正に把握・記録するよう徹底する。そのための社員教育を実施する。 ・緊急な場合も自己申告による記録をして、労働時間をあいまいにしない。 ・主担のみでなく副担をつけ、それぞれの負荷を減らす。 ・事前に業務の多寡を調査し、情報を集めるよう工夫する。 ・休憩時間のベルを大きくする。また休憩時間は極力職場を離れることを推奨し、さらには休憩時間になった場合には、従業員に休むように呼びかけをする。